

薬系学科 6年制新卒の43%が薬局に 国立大の4年制は9割が進学！

旺文社 教育情報センター 2020年1月

(一社)薬学教育協議会はこのほど、2019年3月卒の薬系学科生の就職動向をまとめた。これによると、2019年3月卒の6年制薬系学科生の就職先は、薬局に43%、病院・診療所に22%などとなっている。一方、4年制薬系学科生の74%が進学していることが判明した。以下に概要を紹介する。

【6年制卒業生】就職先は「薬局」がトップ、就職先「未定」の割合は減少傾向

6年制卒業生10,400人(男子4,063人、女子6,337人)のうち、就職したものは8,826人。就職先は、薬局4,455人(42.8%<卒業者に占める割合、以下同>)、病院・診療所勤務2,240人(21.5%)、企業1,043人(10.0%)など。なお進学者は177人(1.7%)となっている。また卒業生の約6割を占める女子の就職先も、薬局が42.7%、病院・診療所勤務が24.2%などとなっている。<表①・②・グラフ①・②参照>

なお、6年制卒業生数は前年(9,579人)より821人増加したが、就職先「未定」は80人の増加(1,058人→1,138人)にとどまり、卒業生に占める割合は10.9%と減少傾向が続いている(2015年12.8%→2016年11.9%→2017年11.5%→2018年11.0%)。

一方、6年制卒業生の93.1%を占める私立大6年制卒業生9,687人の就職先をみると、薬局4,268人(44.1%<卒業者に占める割合、以下同>)、病院・診療所勤務2,028人(20.9%)、企業872人(9.0%)。進学者は152人(1.6%)など。

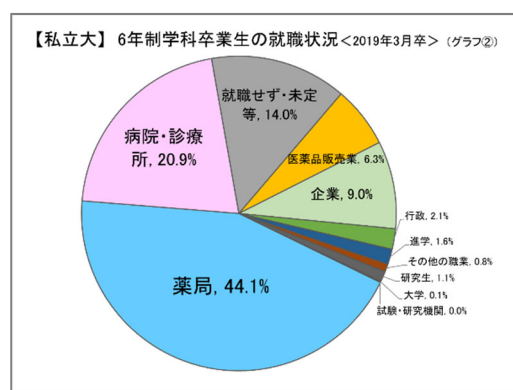
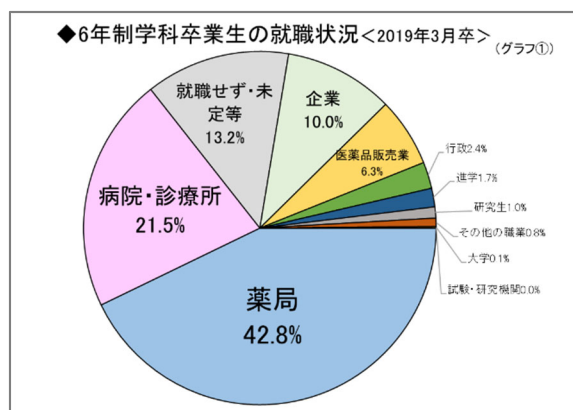
●2019年3月「6年制 薬系学科卒業生」の就職概要

(表①)

| | | 男 | 割合 | 女 | 割合 | 合計 | 割合 |
|-----------|-----------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 就職した者 | 給与の判明した者 | 2,559 | 63.0% | 4,334 | 68.4% | 6,893 | 66.3% |
| | 給与の判明しない者 | 813 | 20.0% | 1,120 | 17.7% | 1,933 | 18.6% |
| 就職しなかった者 | 無給実習・見習い | 4 | 0.1% | 16 | 0.3% | 20 | 0.2% |
| | 進学 | 112 | 2.8% | 65 | 1.0% | 177 | 1.7% |
| | 非就職者 | 117 | 2.9% | 122 | 1.9% | 239 | 2.3% |
| | 未定 | 458 | 11.3% | 680 | 10.7% | 1,138 | 10.9% |
| | 計 | 4,063 | 100.0% | 6,337 | 100.0% | 10,400 | 100.0% |
| 就職した者(合計) | | 3,372 | 83.0% | 5,454 | 86.1% | 8,826 | 84.9% |

●2019年3月「6年制 薬系学科卒業生」の就職状況 (表②)

| | 男 | 割合 | 女 | 割合 | 合計 | 割合 |
|---------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 薬局 | 1,752 | 43.1% | 2,703 | 42.7% | 4,455 | 42.8% |
| 医薬品販売業 | 268 | 6.6% | 388 | 6.1% | 656 | 6.3% |
| 病院・診療所 | 708 | 17.4% | 1,532 | 24.2% | 2,240 | 21.5% |
| 試験・研究機関 | 1 | 0.0% | 1 | 0.0% | 2 | 0.0% |
| 大学 | 2 | 0.0% | 11 | 0.2% | 13 | 0.1% |
| 行政 | 122 | 3.0% | 130 | 2.1% | 252 | 2.4% |
| 企業 | 451 | 11.1% | 592 | 9.3% | 1,043 | 10.0% |
| 研究生 | 35 | 0.9% | 71 | 1.1% | 106 | 1.0% |
| 進学 | 112 | 2.8% | 65 | 1.0% | 177 | 1.7% |
| 就職せず | 117 | 2.9% | 122 | 1.9% | 239 | 2.3% |
| 未定 | 458 | 11.3% | 680 | 10.7% | 1,138 | 10.9% |
| その他の職業 | 37 | 0.9% | 42 | 0.7% | 79 | 0.8% |
| 計 | 4,063 | 100.0% | 6,337 | 100.0% | 10,400 | 100.0% |

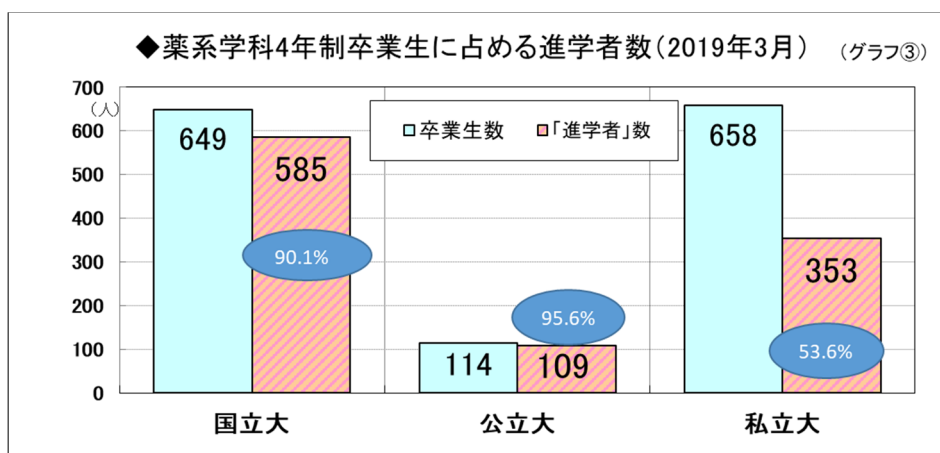


【4年制卒業生】全体で74%が進学

4年制卒業生1,421人(男子891人、女子530人)のうち、進学したものは1,047人(進学率73.7%、男子723人、女子324人)。進学率は昨年(75.2%)より1.5ポイント減少。進学者数を大学設置別で見ると、国立大卒585人(国立大卒全体の90.1%)、公立大卒109人(公立大卒全体の95.6%)、私立大卒353人(私立大卒全体の53.6%)となっている。一方、就職したものは309人(21.7%、男子124人、女子185人)。<表③、グラフ③参照>

●2019年3月「4年制 薬学科卒業生」の就職概要 (表③)

| | | 男 | 割合 | 女 | 割合 | 合計 | 割合 |
|-----------|-----------|-----|--------|-----|--------|-------|--------|
| 就職した者 | 給与の判明した者 | 84 | 9.4% | 130 | 24.5% | 214 | 15.1% |
| | 給与の判明しない者 | 40 | 4.5% | 55 | 10.4% | 95 | 6.7% |
| 就職しなかった者 | 無給実習・見習い | 1 | 0.1% | 0 | 0.0% | 1 | 0.1% |
| | 進学 | 723 | 81.1% | 324 | 61.1% | 1,047 | 73.7% |
| | 非就職者 | 21 | 2.4% | 15 | 2.8% | 36 | 2.5% |
| | 未定 | 22 | 2.5% | 6 | 1.1% | 28 | 2.0% |
| | 計 | 891 | 100.0% | 530 | 100.0% | 1,421 | 100.0% |
| 就職した者(合計) | | 124 | 13.9% | 185 | 34.9% | 309 | 21.7% |



※資料：「薬系大学卒業生・大学院修了者 就職動向調査の集計報告」令和元年11月：一般社団法人 薬学教育協議会

＝2019年3月における国公立薬系大学（73大学74学部）の6年制および4年制の学部卒業生ならびに大学院博士課程（前期）（修士課程）・同博士課程（後期）（博士課程）修了者の就職動向をまとめたもの。

*山陽小野田市立山口東京理科大は卒業生不在のため、調査対象外。

■薬学系学科を取り巻く環境はさらに変わる

卒業後の概況は以上のとおりである。なお、薬学教育協議会の資料では薬剤師国家試験の状況にも触れている。6年制の卒業生の薬剤師国家試験の状況（第104回：2019年2月実施）では、新卒受験者総数は9,508人、合格者は8,129人（合格率85.50%）であった。新卒者の合格率は前年（84.87%）とほぼ同率（0.63ポイントのアップ）である。しかし、新卒者（10,400人）のうち892人（8.58%）は国家試験を未受験であり、これを加味する（合格者÷新卒者総数）と、新卒者の薬剤師資格取得者の割合は78.2%（前年76.3%）に低下する。未受験者への対応が課題である。

一方で薬学部（いずれも6年制学科）の新増設は今後も続く予定である。2020年は国際医療福祉大が福岡薬学部（薬学科120人）、岐阜医療科学大が薬学部（薬学科100人）を開設。また設置構想中として、2021年は和歌山県立医科大が薬学部（薬学科100人）、湘南医療大が薬学部（医療薬学科130人）など。*（ ）内の数字は入学定員。

さらに4年制をなくし、6年制のみとなる大学の流れも出ている。2019年には大阪大が、2021年には徳島大が6年制のみとなる。いずれも4年制と6年制を発展的に融合し、先進的な創薬研究や高度薬剤師の育成などをめざすとしている。なお、薬学部を持たない大阪府立大は、全学域生を対象に、分野横断型の「創薬科学副専攻」を2020年から新設し、創薬研究者（特にバイオ医薬品開発に従事）の養成をめざす。

このように薬学の進路にかかわる環境も大きく変化している。薬学系をめざす受験生も単に資格志向だけではなく、様々な教育・研究内容・進路などを考えて大学・学部・学科の選択をして欲しい。